

## 会議録

会議の名称	令和5年度第11回新城市若者議会
開催日時	令和5年12月15日（金）午後7時から午後9時まで
開催場所	市役所4階会議室
会議の内容	令和5年度第11回新城市若者議会 ・委員会間の共有 ・わかものチャレンジ会議

### 1 委員会間の共有

グループに分かれ、市長答申後に各委員会で検討した内容を共有し合い、それぞれが現在検討している内容について意見交換を行った。

### 2 わかものチャレンジ会議

「新城市に対する不満」を挙げ、それぞれの不満に対して「1人でできること」と「グループでできること」を考えた。また、グループでできることの中から1つ選び、内容や実際に実施する場合にかかる予算、スケジュール等を話し合った。予算上限は、若者チャレンジ補助金の高校生枠と同じ10万円と仮定し、ここで出たアイデアは今後の若者チャレンジ補助金の運営やPR等に活かしていく旨を事務局から伝えた。また、どのようにしたらより多くの若者にこの補助金を活用してもらえるかということについても合わせて検討していただくよう伝えた。以下は話合いのあとに各グループから共有された内容である。

Aグループ	市内のイベントが少ないという不満から、今あるイベントをさらに活性化するアイデアを考えた。企画名は「美味しいもの食べに来りん」で、軽トラ市に来てほしいキッチンカーをアンケートで募集するといった内容である。4月にアンケートを作成し、5月に実施。9月に集計し、多かったキッチンカーに依頼。10月の軽トラ市に来てもらうという想定である。
Bグループ	愛知県内でも新城市の知名度が低いという不満から、1人でもできることとして、個人のSNSで発信することができると思った。グループになれば、SNSチームを作り、エリアごとなどで分担して発信することができる。企画名は、「Look up 新城」。SNSで新城市をバズらせ、新城市の知名度を上げるという内容である。予算は、交通費と

	<p>して3万円くらいを想定した。4月に投稿のガイドラインを決めたり、桜の撮影をしたりする。5月のはのぼりまつり、6月ほうなぎ、7月は蛍、8月は花火や川、キャンプ、作手の流星群を撮る。9月は観光地、10月は湯谷温泉、11月は鳳来寺山、12月は初詣、1月は苺、2月は観光地というスケジュールを考えた。</p>
Cグループ	<p>市内で鹿が増えている。1人でできることは鹿を狩ること。グループで協力すれば分担して行うことができる。18歳未満は狩猟免許を取ることができないため、18歳未満のメンバーには、罠を設置できる場所を調査してもらい、18歳以上のメンバーで狩猟免許を取る。狩った鹿を自分たちで捌き、クリスマスパーティーを開催するというアイデアを考えた。予算としては、狩猟免許の取得に4万円、罠が3万円、解体用ナイフが1万5千円の計8万円。5月に罠の調査をし、6月に試験勉強開始、8月に免許取得、11月に罠を設置し、12月に鹿を狩り、パーティーを開催するという想定で考えた。</p>
Dグループ	<p>新しいコミュニティを作りたいという考えで、ゲームのイベントを開催するというアイデアを考えた。企画名は、「わいわいガヤガヤ新城ボドゲクラブ」。ボードゲームを行うイベントで、市内の人を対象にいろいろな人を集め、トーナメント制で実施する。1位には、いいじゃん券1500円分、2位には1000円分、3位には500円分の賞品、参加賞も用意する。予算としては、会場費が2500円、借用費が5千円、広告費6千円、備品2万円、賞品代が5千円の計3万8千円を想定した。</p>

終了時間：午後9時